

児童：わかるから好き！ 教員：子供たちの新たな面を発見！～アンケート・感想より～

坂城町立南条小学校 宮原明人先生（現・上田市立丸子中央小学校長）の実践紹介 ②

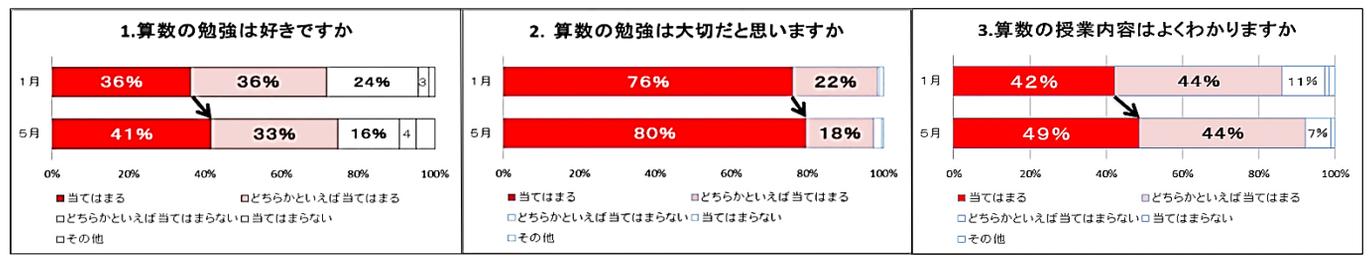
「ごく普通の小学校で多くて週1回の活用でも、確実に学力の定着が見られた」というインタラクティブスタディの実践事例が「第8回教育ITソリューションEXPO」で紹介されました。

日野市では、今年度から中学校もインタラクティブスタディを活用できるようになりますので、理解を深めていただく意味でも実践の様子を3回に分けてご紹介いたします。

- 実践校・期間 長野県 坂城町立南条小学校 ・平成26年1月～5月
- 学年 3年、4年、5年
- ソフトウェア・教材 インタラクティブスタディ・Study21

<算数に関するアンケート結果>

▶実施時期 平成26年 1月・5月 ▶対象児童数 1月：180人 5月：181人



一斉授業だと、子供たちはただ座っているだけで授業が終わってしまうことがあります。でもこのシステムでの勉強だと、子供たちは必ず自ら行動しないと学習が進まないの、積極的に取り組んだという感想を持つことが多いです。



「Study21」では、子供たちの誤答をたくさん集めて導き出している誤答診断用の応答カテゴリーがあります。自動採点ドリルではなく、「それぞれの間違いに対する個別の指導がある」という点が、教員にとっても評価されました。

<児童・教員の感想>

<p>児童の感想～学習意欲向上～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前より算数が得意になったような気がします。 ・自分からすすんで楽しく学習することができたのでよかった。 	<p>児童の感想～学力向上の実感～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータのおかげで算数が楽になった。 ・インタラクティブ・スタディは自分がきちんと分かっていなかったところが分かったし、それができるようになってよかった。
---	--

<p>教員の感想～学習意欲の向上～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のペースで進められるので、集中して取り組んでいた。 ・易しい問題から取り組むことができ、達成感と「自分はできる」という思いを感じられた。 ・他者に間違いを見られる不安もなく、課題が明らかになる。 	<p>教員の感想～アダプティブの効果～ *「アダプティブ」=「個に応じた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものつまずきに応じた指導ルーチンへと導くような教材は大変よいと思う。 ・以前の教材は、正誤だけの判定で間違えた問題に繰り返し挑むようなタイプのものが多かった。それでは、子ども達の学習意欲は高まらない。 	<p>教員の感想～子どもの新たな面の発見～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なことをノートに書くように指示があると、きちんと書き写している。 ・最後まで集中して学習している。 ・授業後に問題について話し合う姿がある。
---	---	--

引用 ・信州大学教育学部附属教育実践総合センター、2015,信州大学教育学部附属教育実践総合センター紀要「教育実践研究」第15号、「ICTで楽しく確かな学力」信州大学学術研究院教育学系教授 東原義訓・宮原明人共著
・信濃教育会、2015,雑誌「信濃教育」5月号、「ICTで楽しく確かな学力 ～学習履歴から読み取る個の学び～」宮原明人著